

事業箇所総合評価シート

【担当課:下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業	路線名等	宇陀川処理区
箇所名	宇陀市榛原福地		

事業の概要	目的	水処理設備(1系列)の老朽化による更新に併せて、耐震化及び処理方式の変更を行い、非常時における最低限の流下能力を確保するとともに放流水質の向上を図る。			
	事業内容	1系水処理施設設備更新・受変電設備更新(機械・電気) 1系水処理施設耐震化(土木・建築)			
着手年度	平成24年度	完成予定年度	平成26年度	全体事業費	736百万円

評価	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、下水の水処理(調整池～最初沈殿池～生物反応槽～最終沈殿池)を行う施設である。 ・本設備は、宇陀川浄化センター供用開始当初に設置され、経年使用により老朽化している。 ・大阪湾流域別下水道整備総合計画において放流水質が決められているため、H37年度までに、処理方式の変更を行う必要がある。 ・1系水処理施設は、短期的に耐震化しなければならないバイパスルートと一体の構造となっており、バイパスルートの耐震化のためには、1系水処理施設の耐震化が必要。 ・水処理設備 昭和61年度設置
	上位計画等	「大阪湾流域別下水道整備総合計画」「宇陀川流域下水道事業計画」
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理方式の変更により宇陀川や室生ダム等の公共用水域の水質改善を図ることができる。 ・耐震化により、大規模な地震が起きた場合でも、最低限の流下能力が確保でき、下水道施設の被災による住民生活や都市機能への影響を最小限に止めることができる。 ・近年の技術革新により機器の省エネ化・長寿命化が進んでおり、運転経費及び維持管理費用の節減が図れる。
	コスト縮減への取組み	・省エネ化・長寿命化等による維持管理コスト縮減を図る。
	地元情勢等	
他計画他事業との関連		
評価結果	左の理由	
採択	施設の老朽化により機器更新の必要性が認められるため採択とする。	

【位置図】

